

令和4年度 第1学年 OB 医師によるキャリア講話(R4.9.17)

9月17日土曜日、常陸大宮済生会病院内科医の仲田真依子先生をお迎えして、OB 医師によるキャリア講話を本校会議室にて実施しました。32名の生徒が参加し、将来へ向けて目を輝かせながら真剣に話を聞いていました。

仲田先生からは、高校時代について、自治医科大学について、現在ご勤務される常陸大宮済生会病院についてスライドを用いて詳しくご説明がありました。出身大学である自治医科大学は、8月にバス見学会を予定していましたが、直前にキャンセルになったので、非常に興味深いお話しでした。私立大学でありながら、各都道府県が出資して建てた大学なので、国公立大学的な面を持ち合わせていること、全寮制であること、また、実習が他大学に比べて早く始まることなどお話しいただきました。常陸大宮済生会病院については、現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていること、一日に到着する救急車の数など、緊迫した病院の様子をお話しいただきました。その中でも、特に印象深かったのは、「チーム医療」、医療は医師だけでは成り立たない、というお言葉でした。医療を支える職種に敬意を払い、患者や同僚とのコミュニケーションを大切に、地域を支えていきたい、と強く思っている先生だからこそのお言葉だと感じました。生徒からは、理科の選択について、数学の克服の仕方について、自治医科大学の特徴について、医者という職業の理想と現実のギャップについて、などたくさんの質問が出ました。どの質問にも、生徒目線でにこやかに丁寧にお答えいただき、先生のお人柄が垣間見える瞬間でした。

先生はご講話の中で何度も、「皆さんと一緒に働くのを楽しみにしている。」とメッセージを生徒に伝えていました。地元を愛し、地域に根付いた医療を提供している先生からのお言葉は、生徒の心に深く届いたと思います。1年の最大の山場である文理選択も本格的になってきました。次年度医学コースを希望する上で、力強い励ましを頂く貴重な場となりました。

また「歩く会」にもご協力いただけるということで、これからも本校OBとして様々な場面でご協力、ご活躍いただき、医師という職業の魅力を存分に後輩に伝えていただければと思います。

